

千両小学校の歩み

児童数

1873	(明 6)	市田村松永寺に第十番中学区第44番小学穂原学校ができる	
1875	(明 8)	穂原学校出張所が善秀寺にできる	
1881	(明 14)	校舎ができ、千両尋常小学校が開校する	
1904	(明 37)	高等科ができ、千両尋常高等小学校となる	89
1907	(明 40)	八幡村立八幡東部尋常高等小学校となる	155
1910	(明 43)	職員住宅ができる	
1911	(明 44)	赤煉瓦の校門ができる	200
1918	(大 7)	実業補習学校が併設される	
1922	(大 11)	中古ミシンを購入し、職員が手作りで制服を作る	215
1923	(大 12)	校旗ができる	211
1925	(大 14)	講堂ができる	208
1934	(昭 9)	二宮金次郎の石像ができる	234
1937	(昭 12)	鉄筋コンクリート製の一心橋ができる	235
1941	(昭 16)	国民学校令により、宝飯郡八幡村東部国民学校となる	215
1943	(昭 18)	豊川市が誕生し、豊川市千両国民学校となる	214
1945	(昭 20)	疎開により、児童が急増する	249
1947	(昭 22)	新学制により、豊川市立千両小学校となる	180
		学校給食を開始する	
1950	(昭 25)	中部中校区から東部中学校区となる	171
1954	(昭 29)	校歌ができる (作詞：西口勝校長)	182
1959	(昭 34)	教育用テレビが各教室に配置される	228
1961	(昭 36)	農繁休暇を廃止する	188
1971	(昭 46)	校旗を新調する	155
1978	(昭 53)	校舎を移転する、中部中学校区にもどる	344
1981	(昭 56)	開校百年式典が開かれる	397
1993	(平 5)	市制50周年ふるさと子ども劇場で「犬頭の糸」を発表する	235
2001	(平 13)	わくわく生き生き事業として「にこにこ川」ができる	186

上下余白 10 左右余白 20 文字数 50 9.45pt 行数 33 23.3pt

行間オプション 行間 固定値 27pt フォント詳細設定 文字間隔狭く 0.5pt

フォント 題字 HGP 創英角ポップ体 28

文字 HGS 明朝 E 20 ふりがな HGS 明朝 E 6P